

## 指宿医療センター看護部 能力開発プログラム

	研修コース	目的・目標	研修内容	対 象
ジェネラリスト	中間管理者	目的:看護管理に関する知識を高め、管理調整能力を養い、中間管理者としての資質向上に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護管理</li> <li>労務管理</li> <li>勤務時間管理</li> <li>病院経営</li> <li>コーチング</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">ジェネラリスト</div>
	看護研究	目的:看護実践における研究課題を明確にし、研究のプロセスに基づいて看護研究に取組み、看護の質向上の役立てる 目標1. 研究課題を明確にでき、研究プロセスに沿って看護研究できる 2. 研究の成果を発表できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の明確化</li> <li>研究計画書作成</li> <li>研究発表</li> <li>院外発表</li> </ul>	
	ジェネラリスト	目的:未来を見据えて、顕在化していない問題に対して、自ら解決の方法を企画・提案し人や組織を巻き込みながら行動できる 目標1. 各領域での顕在化していない問題に気づき解決の為の企画を提案できる 2. 各領域での専門知識を身につけ指導や院内活動ができる 3. 人との関わりを通して自らの考えや行動を振り返り、課題改善ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア開発にむけて</li> <li>看護を語ろう</li> <li>自己の役割再発見</li> <li>自己が目指す看護とは</li> </ul>	
	実地指導者 チューター	目的:実地指導者としての役割を理解し、新人指導に必要な知識・技術・態度を習得する 目標1. 新人看護師のレディネスに応じた指導計画が立案できる 2. 他職員と協働指導の中で、リーダーシップを発揮しながら新人育成に関わることができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>実地指導者の役割</li> <li>新人の特性</li> <li>指導・支援について</li> </ul>	
アクティナイス	実務Ⅱコース (4～5年目)	目的:学生指導や後輩の支援を通して、看護実践者として役割モデルとなる 目標1. チームリーダーとしての役割を果たすことができる 2. 後輩個々に応じて適切な指導・助言ができる 3. 実践分野における自己の研究課題に取組み、院外で発表できる 4. 実習指導に必要な知識・技術・態度を習得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームリーダーの役割</li> <li>コーチング</li> <li>臨床実習の異議</li> <li>指導者としての役割</li> <li>看護研究</li> </ul>	4～5年目
	実務Ⅰコース 後期 (3年目)	目的:日々の看護実践に問題意識をもち、研究的視点で看護を分析評価する能力を養う 目標1. 看護実践者として個性を重視した看護実践ができる 2. 後輩への支援とともにリーダーシップが発揮できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップ</li> <li>交流分析</li> <li>事例研究</li> </ul>	3年目
	実務Ⅰコース 前期 (2年目)	目的:看護実践者としての基本的能力を基盤にして、対象の状況に応じて看護実践できる能力を養う 目標1. チーム医療について理解を深め、自己の役割が理解できる 2. アセスメント能力を高め、受持ち看護師として看護過程の展開ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム医療</li> <li>メンバーシップ</li> <li>受持ち看護師の役割</li> <li>医療安全</li> <li>看護過程展開</li> </ul>	2年目
	新人コース (1年目)	目的:職場への早期適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する 目標1. 患者の安全安楽を考慮し、根拠に基づいた看護技術が実践できる 2. 早期に職場に適応でき、意欲をもって看護活動できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人オリエンテーション</li> <li>BLS 急変時の対応</li> <li>接遇</li> <li>看護倫理</li> <li>フィジカルアセスメント</li> <li>リスク感性</li> <li>コミュニケーション技術</li> </ul>	1年目
補助者 看護	看護助手 (看護補助者)	目的:看護チームの一員として、看護補助者の役割を認識し、看護補助に必要な知識、技術、態度を習得する 目標:患者の安全安楽を考慮し、根拠に基づいたケアが実践できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>療養上の世話</li> <li>食事・清潔・排泄・入浴</li> <li>感染防止対策</li> <li>医療安全</li> <li>個人情報保護</li> </ul>	看護補助者

集合教育